



モビリティマネジメントの継続的な展開に向けて ～継続プロジェクトの特徴から見た成功のポイント～

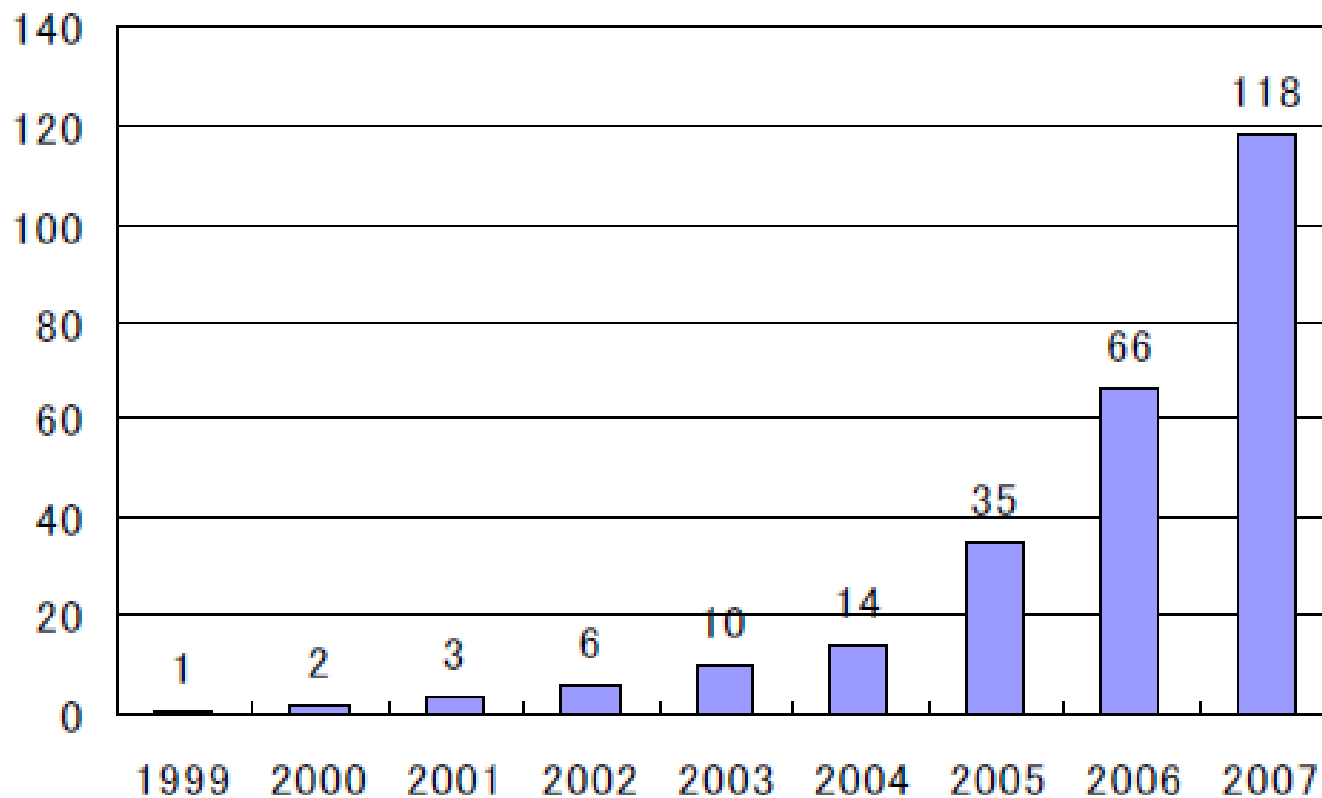
神田 佑亮

京都大学大学院工学研究科

背景

- 国内におけるMMは1999年にスタートし、2005年以降適用件数が急増

▼全国のMMプロジェクト数



背景

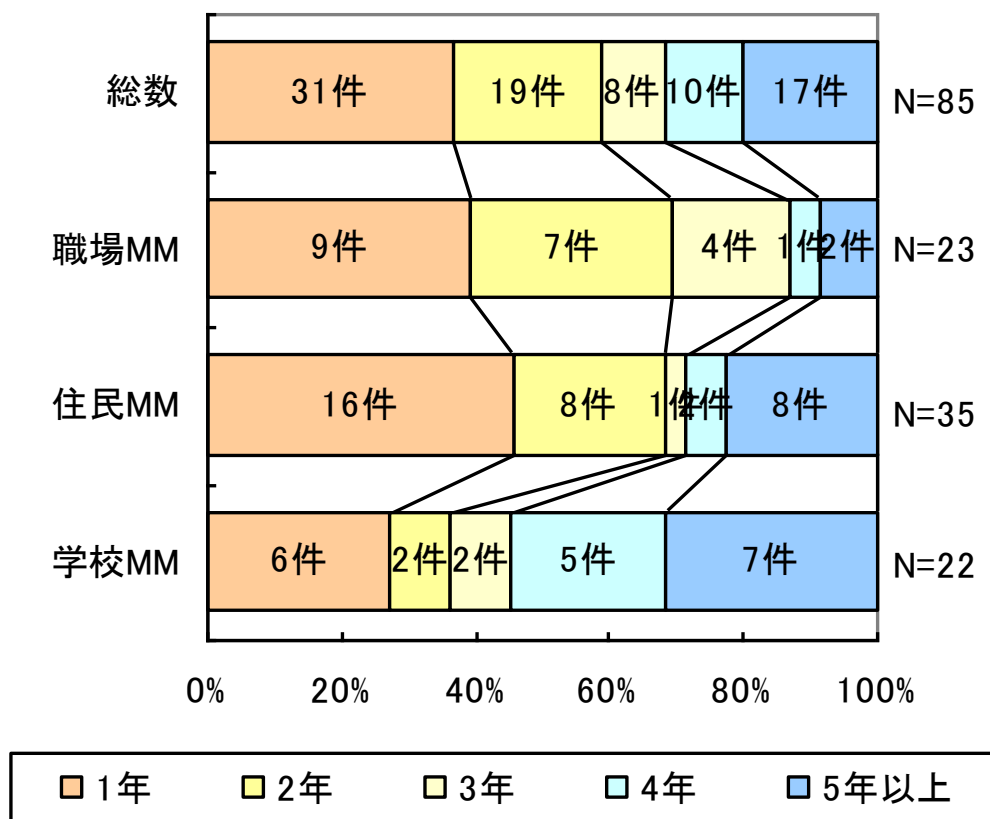
- MMが急速に普及した背景：ハード整備を伴わない手軽さや、即効性等が期待
- しかしながら、必ずしもすべてのプロジェクトが継続している訳ではなく、**効果未確認のまま短期間で終了**したプロジェクトも少なくない

MMの継続状況

- MMプロジェクトの継続年数について、2010年に福山市で開催された日本モビリティ会議の来訪者（306名）を対象に実施したアンケートにより集計分析。
- 主な質問項目
 - 経験したプロジェクトの内容・継続年数
 - MM推進上の重要な要素
- 来訪者全員に配布し、うち91名より回答を得た（回収率30%）。

MMプロジェクトの継続状況

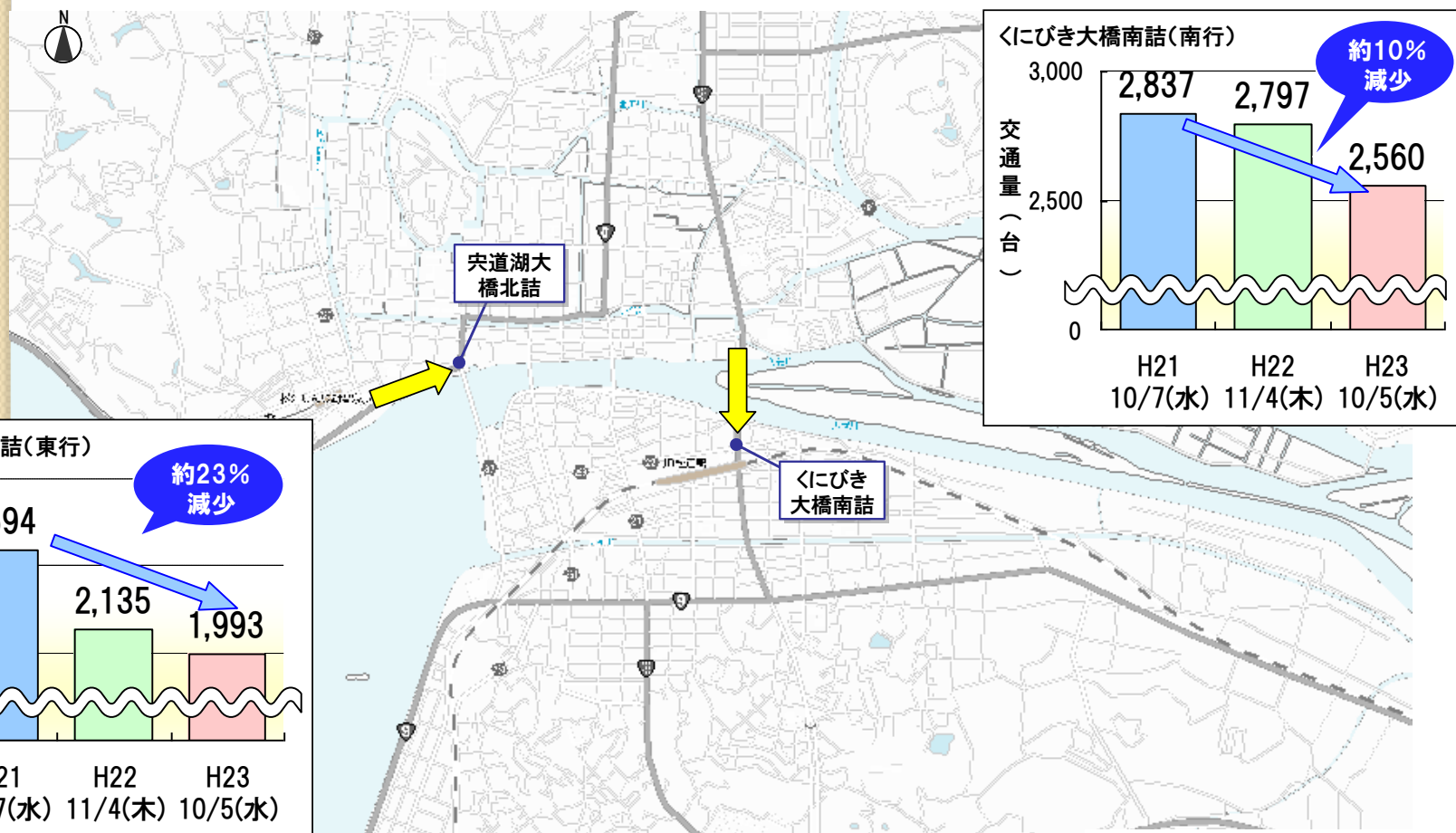
- MMプロジェクトの継続年数(MM種類別)
 - 全体では約4割のプロジェクトが1年で、
約6割のプロジェクトが2年と短期で終了。
 - 職場MM、住民MMの継続年数が短く、学校MMは長い。



MMを継続することの意義

1. 渋滞が本当に減る

- ・ **通常（ふだんの交通状況）** の朝ピーク時交通量を比較
- ・ 交通量が10～23%減少

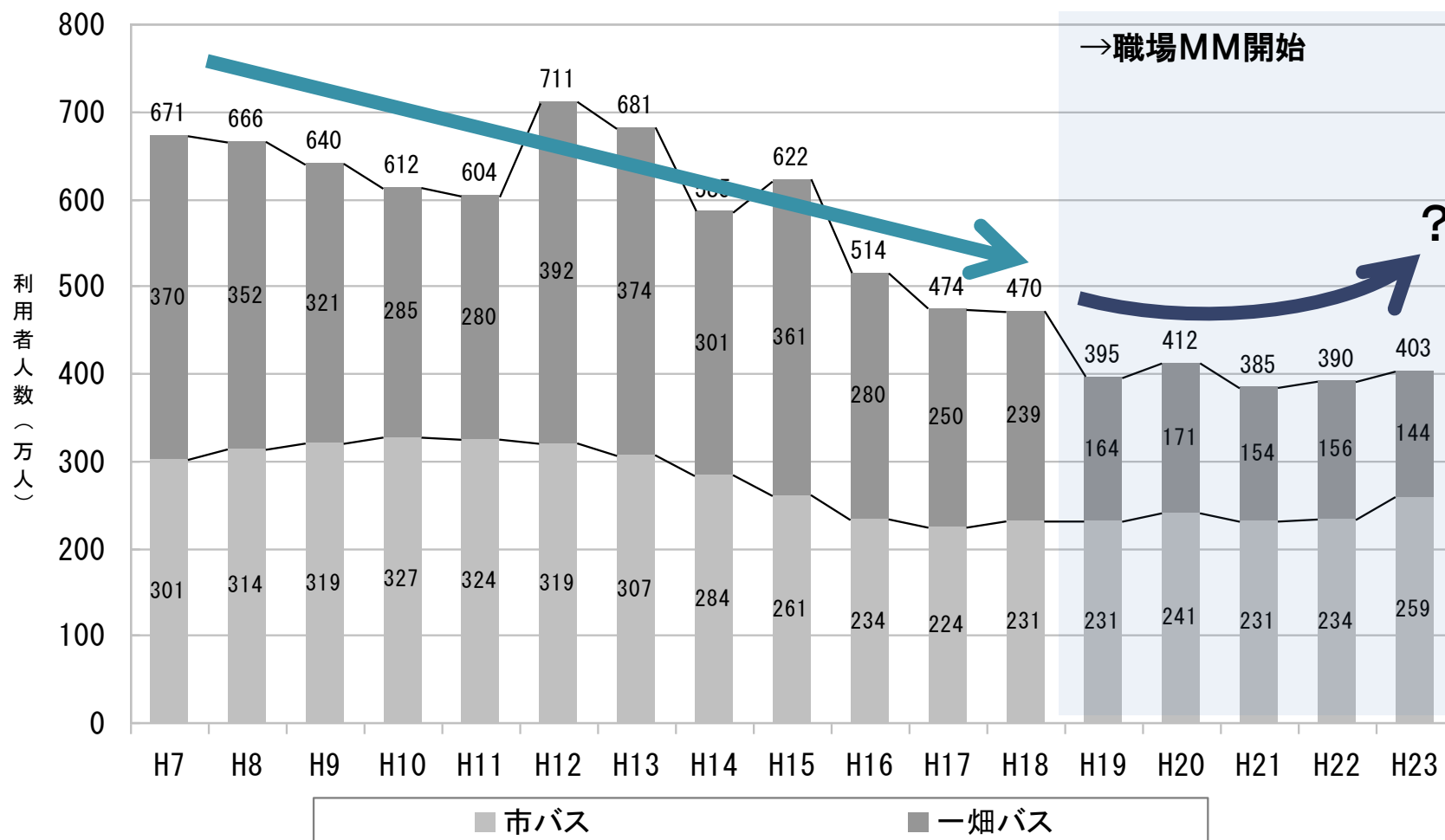


※朝ピーク時 7:30～9:00

MMを継続することの意義

2. 公共交通の利用者が（本当に）増える

●バス利用者数の推移（松江市）



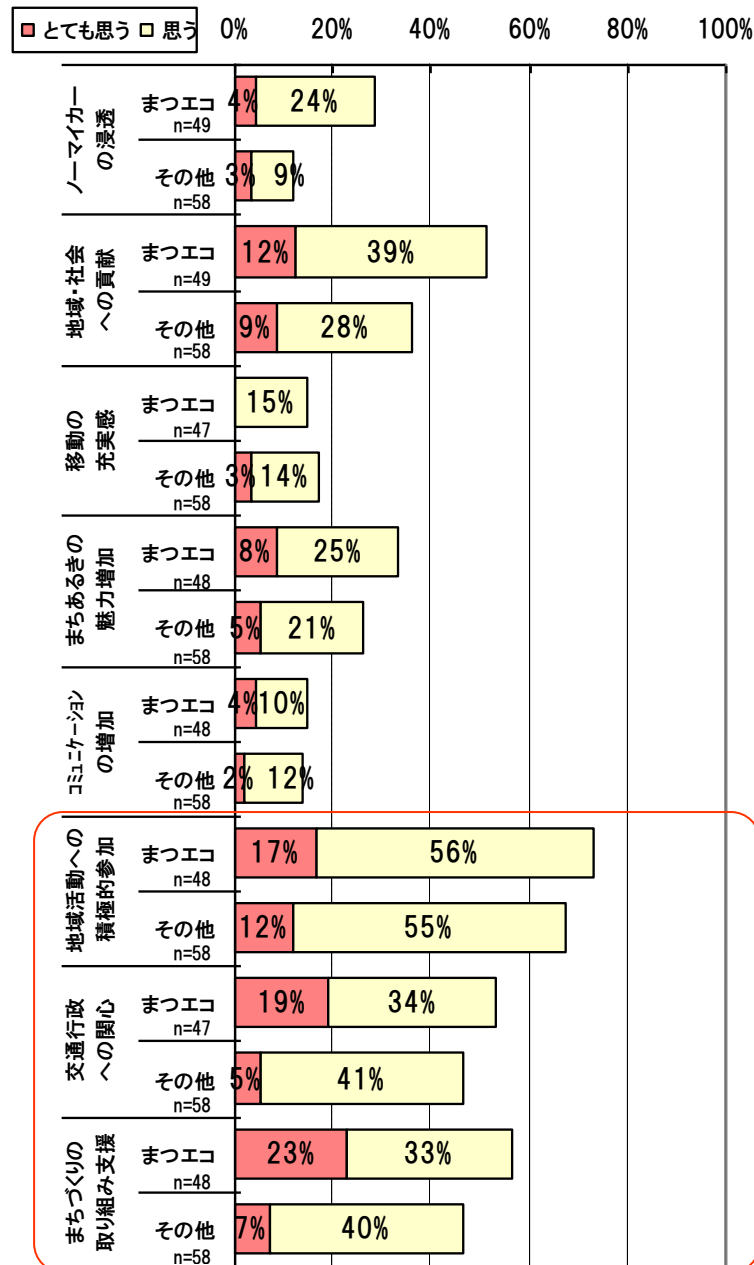
3. 市民がまちを好きになる（社会性向上）

■ まつエコ宣言策定有無別 まちづくり意識

- 「交通行政への関心」、「まちづくりの取組支援」に対し、「とても思う」という回答割合が高い

まつエコ宣言策定

- 行政に対する協調意識が形成され、まちづくり意識の向上に効果があることを示唆



背景

- MMが急速に普及した背景：ハード整備を伴わない手軽さや、即効性等が期待
- しかしながら、必ずしもすべてのプロジェクトが継続している訳ではなく、効果未確認のまま短期間で終了したプロジェクトも少なくない
- MMの適用対象である交通問題は短期で本質的に向上するものではなく、また一人一人の意識も同様であり、こうした視点から長期的に施策を展開していくことが必要不可欠

目的

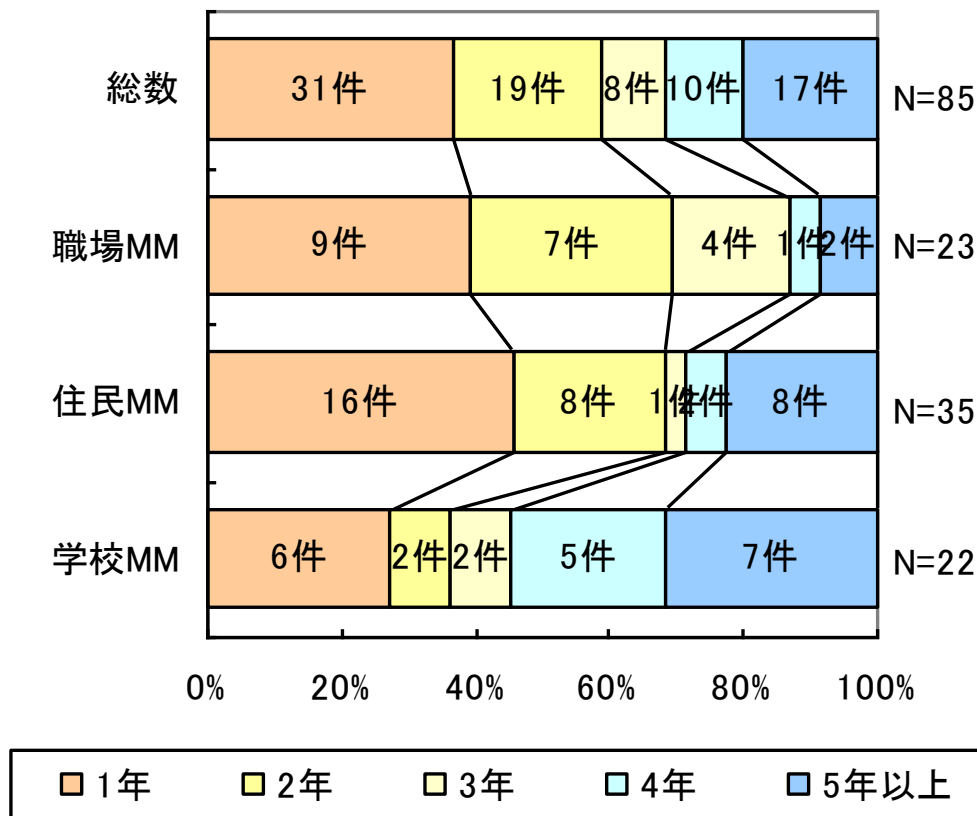
- MMの持続可能性に資する基礎分析として、継続的・効果的な展開を図る上で重要となる要件について、
MMプロジェクト経験者を対象としたアンケート調査結果の分析により明らかにすることを目的とする。

分析データ

- MMプロジェクトの継続年数について、2010年に福山市で開催された日本モビリティ会議の来訪者（306名）を対象に実施したアンケートにより集計分析。
- 主な質問項目
 - 経験したプロジェクトの内容・継続年数
 - MM推進上の重要な要素
- 来訪者全員に配布し、うち91名より回答を得た（回収率30%）。

MMプロジェクトの継続状況

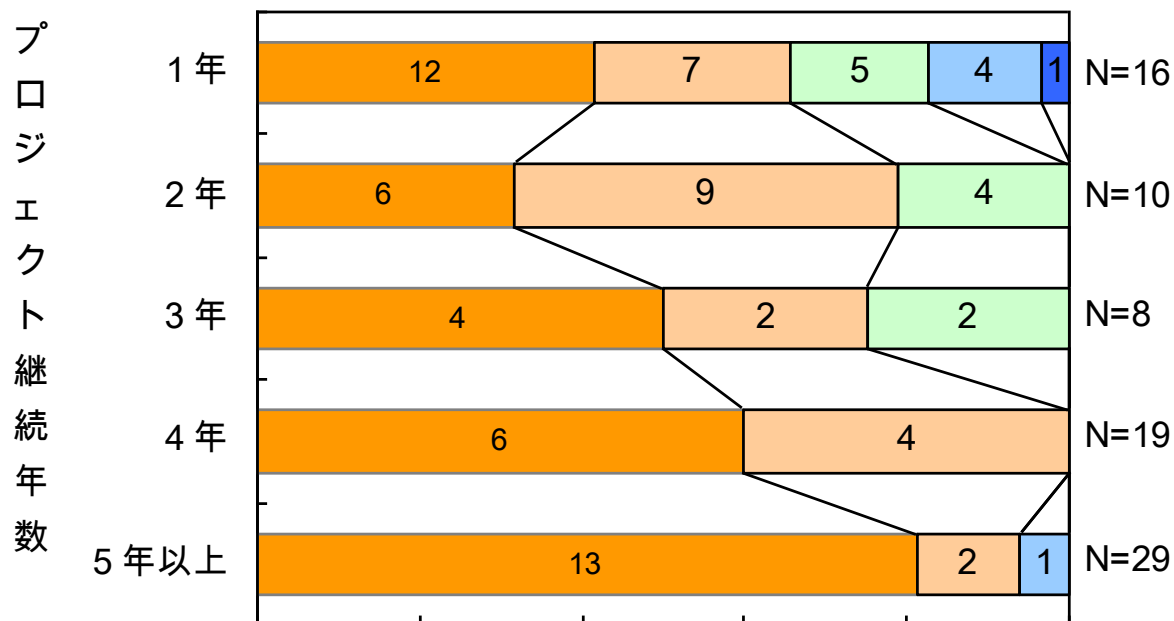
- MMプロジェクトの継続年数(MM種類別)
 - 全体では約4割のプロジェクトが1年で、約6割のプロジェクトが2年と短期で終了。
 - 職場MM、住民MMの継続年数が短く、学校MMは長い。



MMプロジェクトの継続状況

継続年数とプロジェクトの成否との関係性

- プロジェクトの継続年数が長いほど、成功したと思う人の割合は高い。
- プロジェクト継続年数の長さはプロジェクトの成功度を指し示していると考えられる？

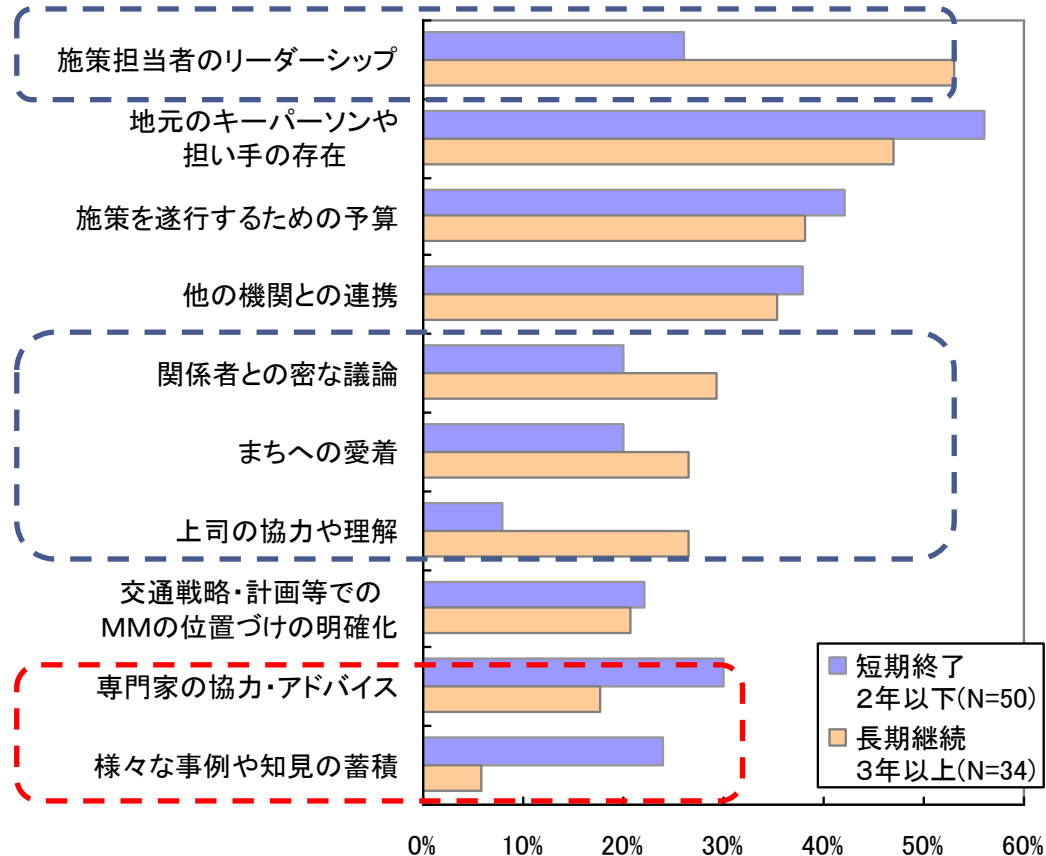


■ 成功したと思う ■ どちらかという成功 ■ どちらでもない
■ どちらかという失敗 ■ 失敗したと思う

MMプロジェクトの継続状況

•MM推進上の重要な要素（継続期間別）

•継続プロジェクトの経験者は、
「リーダーシップ」や「愛着」、「連携」を挙げる人が多い



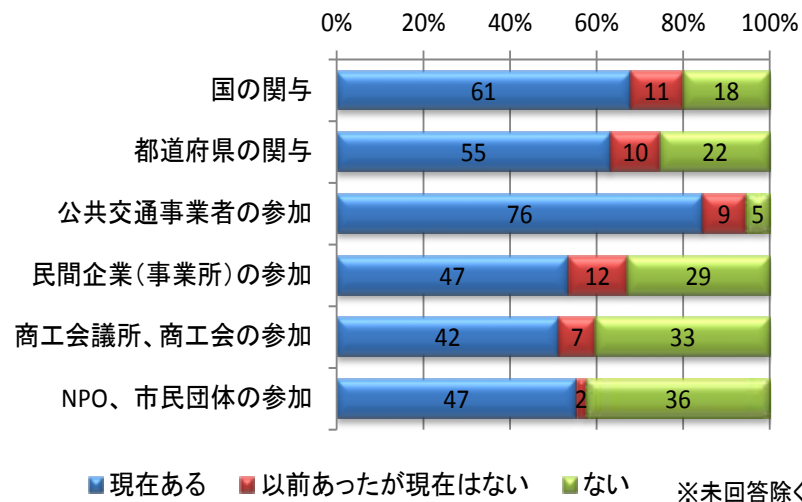
“円滑に進んだMM”の分析

- 円滑に実施できたMM事例に共通する要件について明確化
 - 過去5年間に日本モビリティ会議で報告された事例のうち、複数の機関の連携により実施される機関の担当者を対象にアンケートを実施
- 主な質問項目
 - MMプロジェクトの種類
 - 連携の枠組み
 - MM施策における重要な役割、キーパーソン
- 69団体より回答

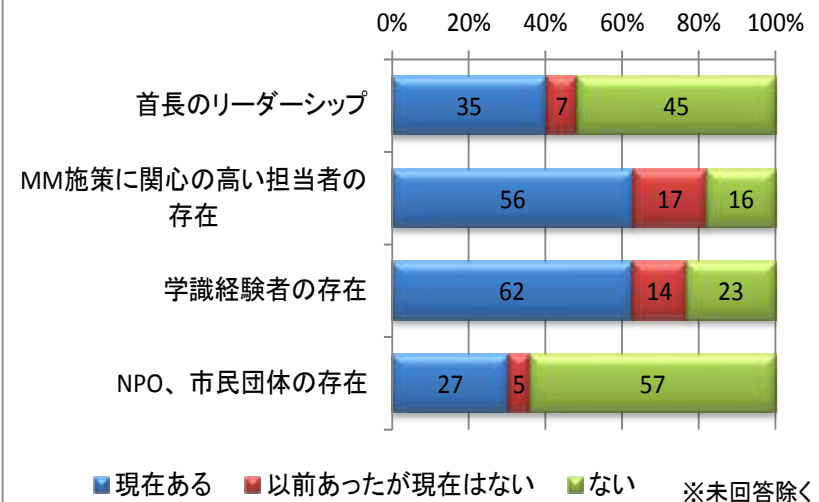
MM施策に重要な要素

- メンバー構成：事業者、国、都道府県の関与の重要性を指摘する意見が60%を越える
- キーパーソン：MMに関心の高い担当者の存在、学識経験者の存在、などが重要であると指摘

MM施策に影響を与える要因_2.メンバー構成 (件数)



MM施策に影響を与える要因_3.キーパーソン (件数)



● 「円滑に実施できた」とする事例の影響要素

- MM施策を「円滑に実施できた」とする事例の影響要素としては、「公共交通事業者」や「国」「都道府県」等の関係機関の参加が上位の要素

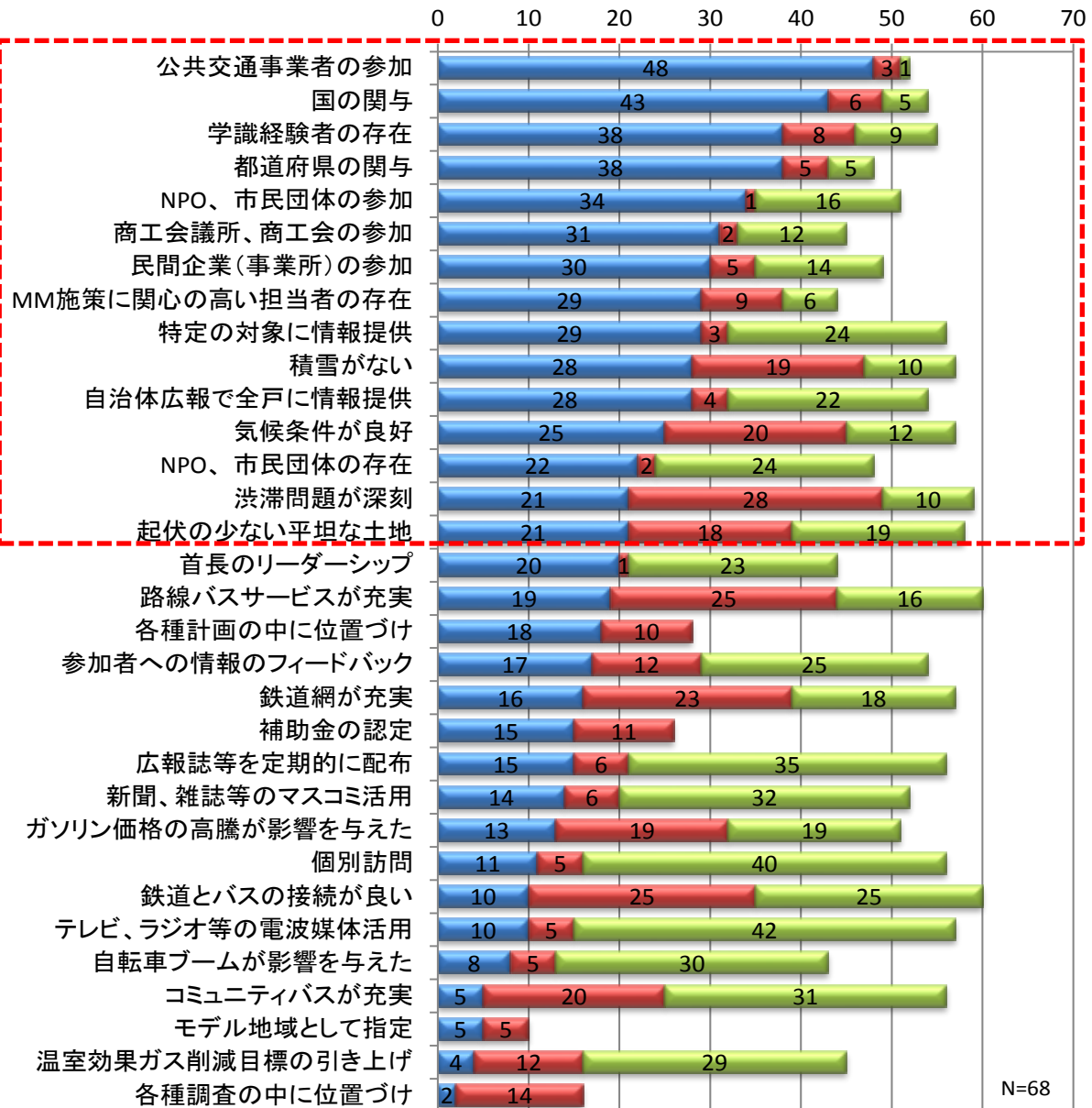
- また「学識経験者」や「NPO等」の専門家やファシリテーター的役割の存在の必要性も注目

- 予算や外的要因に関するコメントの割合は低い

- 現在ある・継続中・あてはまる
- 以前あったが現在は無い・以前は実施・ややある
- 無い・実施していない・あてはまらない

MM施策を「円滑に実施できた」とする事例の影響要素

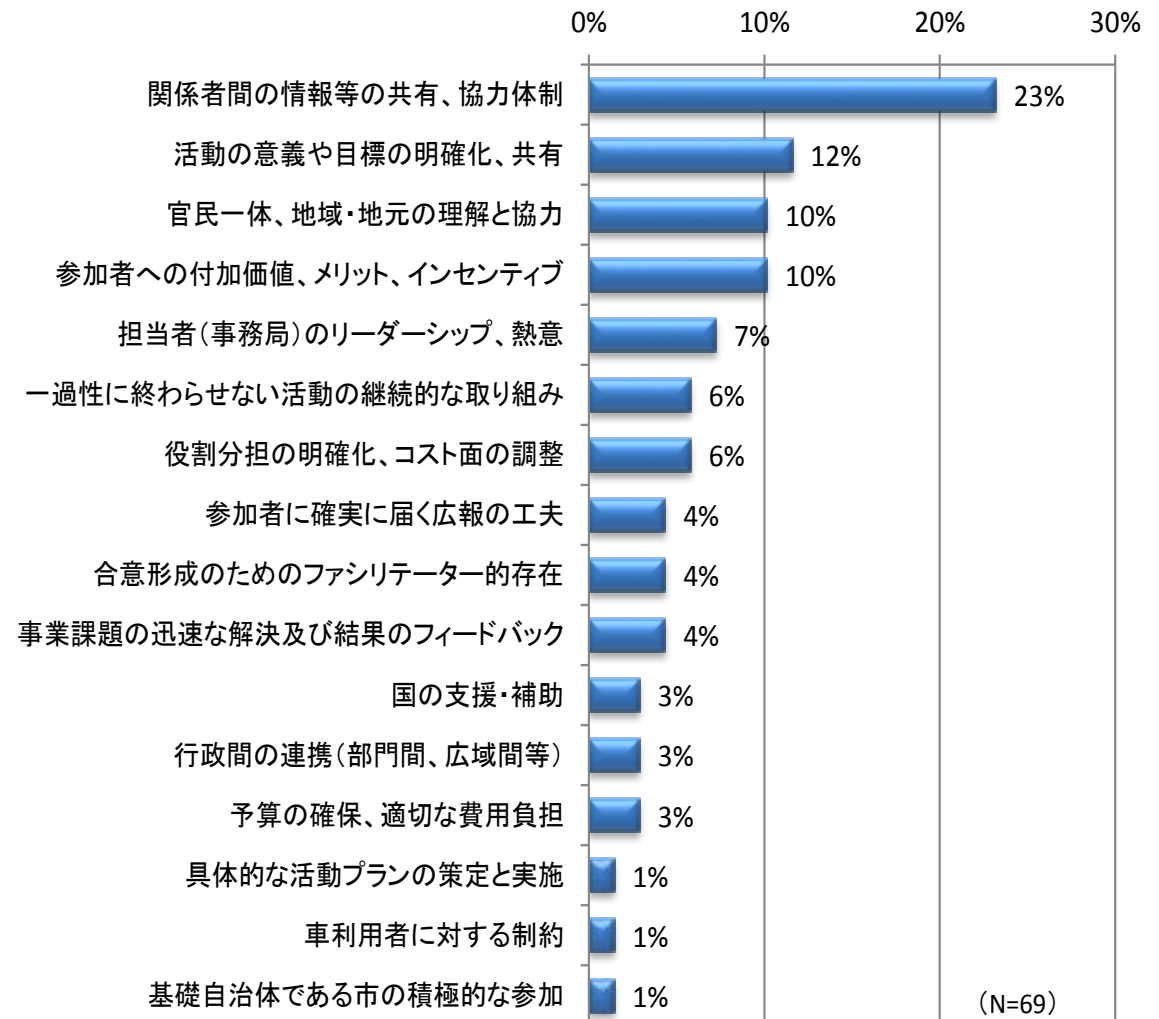
(件数)



N=68

● MM施策の成否の要素

- 「関係者間の情報等の共有・協力体制構築」をあげる意見が最も多い
- 「活動の意義や目標の明確化・共有」、「官民一体、地域・地元の理解と協力」、「参加者への付加価値、メリット・インセンティブの付与」などを重要視する意見もみられる（ボトムアップ的意見）



MMを成功させるための傾向

- モビリティ・マネジメントの施策の継続状況を見ると、約半数の施策が継続年数が2年以下と短く、特に適用事例の多い居住者MMや職場MMで傾向が高い
- プロジェクトを進める上での重要な要素についても、短期プロジェクトと長期継続プロジェクトで傾向が明確に分かれた。
 - 長期継続プロジェクトは「施策担当者のリーダーシップ」、「関係者との密な議論」、「街への愛着」、「上司の協力や理解」といった要因が重要視されており、これらの要因が無視できない。
- 実際のプロジェクトでの基礎、発展、継続フェーズでの組織の状況についてみると、「プロジェクトの初期段階での成功」の重要性が明らかになるとともに「施策担当者のリーダーシップ」の重要性が明確化。

MMを成功させるための姿勢

- MMはコミュニケーション施策であり、「コミュニケーション」は相手との相互の意思疎通
- 相手のことを思いやり、相手の立場に立って理解しつつ、そしてこちらの思いもうまく伝える
- **MMと一緒に進めるパートナーを得て、みんなで考え、進める**
 - 時には組織の所掌を超えて、フォローし合う関係
- **クルマの代わりとなる交通手段に対する捉え方のギャップ**
 - MM担当者：バスと、鉄道と・・・
 - MMの対象者：情報のギャップ、自転車も使いたい・・・
- **「できることから、できるペースで、できる人から」のコンセプト**
 - 「明日からぱたっと毎日クルマをやめてくれる・・・」というスタンスで受け入れることが可能か？

まとめ

- モビリティ・マネジメントの継続にあたっては、外的要因の影響はそれほど重要ではなく、むしろ担当者に大きく依存
- 相手のことを思いやり、相手の立場に立って理解しつつ進めるスタンス
- MM施策は決して恵まれた予算環境下で展開されている施策とは言い難いが、一人一人へのコミュニケーションを図るため担当者の負担が大きい傾向があるが、関係機関の円滑な連携とリーダーシップにより、より発展・継続していくことが期待される。

お願い

受付時に配布したアンケートにご協力をお願いします！

モビリティ・マネジメントのプロジェクトに関するアンケート ご協力をお願い
 京都大学大学院 交通行動システム研究室 協力:日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)事務局

近年、コミュニケーションを中心とした交通政策であるモビリティ・マネジメントが、全国各地で取り込まれるようになってきました。交通やまちづくり、教育など、その対象は広範になるとともに、多種多様な形態のプロジェクトのなかでMM手法が取り入れられてきています。

そのような中、今後の望ましいプロジェクトの推進・マネジメント体制について知見を得ることを目的にアンケート調査を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。

問1 始めに、あなたご自身のことについてお聞かせします。

あなたの年齢は？	<input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上
あなたの性別は？	<input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 男性
あなたの勤め先は？	<input type="checkbox"/> 地方公務員 <input type="checkbox"/> 国家公務員 <input type="checkbox"/> 大学等研究機関 <input type="checkbox"/> コンサルタント・シンクタンク <input type="checkbox"/> 市民団体・NPO <input type="checkbox"/> 交通事業者 <input type="checkbox"/> 議員 <input type="checkbox"/> その他()
あなたの職種は？	<input type="checkbox"/> 技術系 <input type="checkbox"/> 事務系 <input type="checkbox"/> その他()
お住まいの都道府県は？	()
これまで、MMのプロジェクトに携わったことがありますか？	<input type="checkbox"/> ある(申請したプロジェクト数) (件) <input type="checkbox"/> ない(※別のシートへお答え下さい)

問2 これまでどのようなMMプロジェクトに携わりましたか？
※詳細なプロジェクト名も、主なもの(最大2つ)について、お答えください。

番号	MMの種類	対象規模	開始年	継続年数
プロジェクト①	<input type="checkbox"/> 施設MM <input type="checkbox"/> 住居MM <input type="checkbox"/> 学校MM <input type="checkbox"/> まちづくり・買い物MM <input type="checkbox"/> その他()	約 人	年	年間
プロジェクト②	<input type="checkbox"/> 施設MM <input type="checkbox"/> 住居MM <input type="checkbox"/> 学校MM <input type="checkbox"/> まちづくり・買い物MM <input type="checkbox"/> その他()	約 人	年	年間

問3 外部機関や専門家と連携して進めましたか？ またどの機関(者)がプロジェクトのキーパーソンとなりましたか？
※問2で回答されたプロジェクトについて、お答えください。

番号	連携した相手先	キーパーソンとなった機関(者)からのご選択(記入)
プロジェクト①	<input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> 国の機関 <input type="checkbox"/> 学際組織者 <input type="checkbox"/> コンサルタント等 <input type="checkbox"/> 市民団体、NPO <input type="checkbox"/> その他()	
プロジェクト②	<input type="checkbox"/> 地方自治体 <input type="checkbox"/> 国の機関 <input type="checkbox"/> 学際組織者 <input type="checkbox"/> コンサルタント等 <input type="checkbox"/> 市民団体、NPO <input type="checkbox"/> その他()	

問4 プロジェクトで検討会・協議会・運営会議・ワーキングチーム等の関係者会議(公式・非公式問わず)を設置しましたか？ また、関係者会議はどのような役割を果たしましたか？

	関係者会議の設置の有無 <small>※設置数調査可</small>	開催頻度 <small>※開催頻度調査可</small>	プロジェクトにおける 関係者会議の機能 <small>※機能調査可</small>
プロジェクト①	<input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 設置していない	<input type="checkbox"/> 年3~4回 <input type="checkbox"/> 2ヶ月に1回 <input type="checkbox"/> 毎月1回 <input type="checkbox"/> それ以上 <input type="checkbox"/> それ以下	<input type="checkbox"/> 方針、従来の承認 <input type="checkbox"/> 情報収集、意見交換 <input type="checkbox"/> 協力で進捗する関係者間の関係 <input type="checkbox"/> 実効性のある関係構築への可視化 <input type="checkbox"/> その他()
プロジェクト②	<input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 結核の代表者の会議を開催 <input type="checkbox"/> 設置していない	<input type="checkbox"/> 年3~4回 <input type="checkbox"/> 2ヶ月に1回 <input type="checkbox"/> 毎月1回 <input type="checkbox"/> それ以上 <input type="checkbox"/> それ以下	<input type="checkbox"/> 方針、従来の承認 <input type="checkbox"/> 情報収集、意見交換 <input type="checkbox"/> 協力で進捗する関係者間の関係 <input type="checkbox"/> 実効性のある関係構築への可視化 <input type="checkbox"/> その他()